

マークテックの技術継事業立ち上げ

西本 圭吾社長に聞く

アルコニックスグループのマークテックは、非破壊検査事業、印字・マーキング事業に次ぐ第3の事業の柱を築くため、後継者不在に悩む中小企業の事業を承継する「技術承継事業」を立ち上げた。M&Aや業務提携を通じて事業を拡大させるもので、すでに動風圧試験装置などを手掛ける本田工業(大阪市)を傘下に収めるなど成果を出している。マークテックの技術承継事業の戦略を西本圭吾社長に聞いた。

くためには、M&Aや資本提携、業務提携を通じて成長の柱を構築することを考えていた。一方で



住設メーカー用を守る意向が強く、さる風洞システムがあるなどにも納入さまざまな事業継続の方策するなど国内を検討していた。取引銀のアカウントを活用すれば前向きに検討していきたい。特に「結んだ」

「JIS認証機 面談を重ねて譲渡契約を結んだ」

「JIS認証機 どのようシナジーを 実現できるか。」

「われわれにとっては 本田工業の買収で 業の展望は。」

「今回の第一弾として 本田工業をグループ化する ことができたが、今後 人も案件があれば前向きに 取り組んでいきたい。1 年に1件程度のスピード 感で取り組んでいきた ている日系メーカーの要 求する品質に達していな いケースが多い。当社が ノウハウを提供すること で市場ニーズを捕捉でき ればと思っており、来年 には形にしたい。米国で も非破壊検査事業の足掛 かりを築きたい」

「海外では既存ビジネス 海外でもM&Aを していくのか。」

「非破壊検査事業では、当 社の製品を販売するイン ドの代理店との合弁事業 を考えている。インドの 現地メーカーが造る探傷 (磁粉探傷・浸透探傷) 装置は、インドに進出し ている日系メーカーの要 求する品質に達していな いケースが多い。当社が ノウハウを提供すること で市場ニーズを捕捉でき ればと思っており、来年 には形にしたい。米国で も非破壊検査事業の足掛 かりを築きたい」

品質保証 関連事業を拡充

第1弾、本田工業を子会社化

「技術承継事業と 『自動車業界で進むEV 化の動きによってわれわ 後継者不在で廃業を選択 する企業も多い。当社の 軸である『品質保証』に マッチする企業の受け皿 になることが互いのメリ ットになると思い、『技 術承継事業』を立ち上げ 術承継事業」を買収した」

「8月には本田工業」

「変更にもかかわっていないで『品質保証』 関連事業 幅が広がる。一方、本 田工業はマークテックの 傘下に入ることで人材採 用や与信力が向上すると 思っていた。自社ブ ランドの維持や社員の雇

「非破壊検査事業、印 字・マーキング事業の二 つの柱で事業を展開し、 安定的に収益を上げてい る当社であるが、将来に 目を向けたとき、例えば

「本田工業は非常にニ ッチだが、動風圧・断熱 だが、創業家が後継者問 題を抱えていた。自社ブ ランドの維持や社員の雇

「本田工業は非常にニ ッチだが、動風圧・断熱 だが、創業家が後継者問 題を抱えていた。自社ブ ランドの維持や社員の雇

(遊佐 鉄平)

